

導入事例||CASE 01

兵庫県南あわじ市 森の木ファーム様 (就労継続支援A型事業所)

瀬戸内海・淡路島で生コンを製造する建設関係のグループ会社を経営しています。近年の建設不況を見据えて数年前から異業種参入を検討、色々なアグリビジネスを視察してきましたが、水耕栽培等は設備投資額が大きく、採算が合わないと感じることが多かったようです。

そんな中、岩手県で椎茸栽培を企業的に経営されているM社を見学した折に「これならいける!」と確信、本格的な事業化を目指し菌床椎茸栽培事業に着手しました。当初から企業的経営規模としては最小規模の発生室100坪×3棟と自社培養棟プランでスタート。遊休施設を改造し、アシストジャパンからの指導・サポートの下、培地の製造からの一貫生産を開始、順調にスタートを切ることができました。

培地の製造から一貫して行うことでコストダウンが可能です。その他にも、パック詰めでの無駄と間違いを防ぐため自動計量システムを採用しパック当たりの重量を統一するなど、品質を維持・向上させつつコストダウン化を図っています。現在は管理



ハウス外観

人件費の低減や収量アップのための製造工程の見直しを行っています。A型事業を経営に取り入れたことによって、経営の安定化と社会貢献も達成し、今後もさらなる発展のため福祉事業への展開をはかっています。



ハウス内部:仕込み室

ハウス仕様	仕込み室、培養室 既存建物改造 発生室 H鋼断熱パネル&フィルム張り
ハウス規模	仕込み室 約 28坪 間口 5.3m 奥行17.9m 培養室 約195坪 間口11.6m 奥行27.8m×2室 発生室 約100坪 間口 9.2m 奥行36m×3室
菌床数	42,826床(発生)
生産品目	菌床しいたけ